

# AIDS UPDATE

No.22 2001.3.7

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線2941 (輸血部副部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

## シンポジウム 「エイズと包括的ケア」

◆ 毎年恒例の広島病院の職員対象としたエイズ研修会を開催します。エイズ・HIV感染症のケアは99%が外来です。致死的な疾患から難治性の慢性疾患に変貌し、ますます多職種チームの連携が必要になりました。まさに包括的ケアのモデル疾患と言えます。シンポジウムでは、広島市民病院のソーシャルワーカーの塚本さん、東京からHIV/AIDS看護研究会の堀さん、そして堀さんのお友達であるHIV感染者の方に来ていただき、実際的な話題を提供して頂きます。

## 2000年末現在の世界の状況

◆ 国連合同エイズ計画の報告を「エイズ予防情報ネット」からダウンロードしました。

[ [http://api-net.jfap.or.jp/mhw/mhw\\_Frame.htm](http://api-net.jfap.or.jp/mhw/mhw_Frame.htm) ]

国連はエイズの問題を従来、地域紛争や民族問題を取り扱っていた「安全保障理事会」で取り上げ、人類存亡の問題と考えています。

## エイズ動向委員会

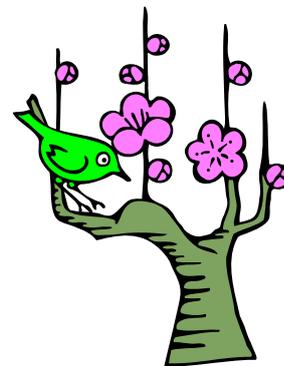
◆ 2ヶ月おきに発表される日本のエイズ動向です。いつも指摘していますが、献血ではついに10万人あたり1.14人になりました。まさに直線的な増加です。資料でおわかりのように中四国地方は日本で最も感染者数が少ない地域です。東京都は感染者と発病者の合計が1944人、広島県は26人です。人口が5倍としても、15倍も違います。

## 広島病院 HIV感染者・エイズ患者は累計69人

◆ 2001年2月28日現在の広島病院の累計のHIV感染者数は、前回の報告から一人増えて69人になりました。セカンドオピニオンを求めて来院されましたが、同じ感染者との面会も果たしました。

## エイズの検査を受けてみませんか？

◆ 私たちの病院は中四国のブロック拠点病院であり、診療経験をもったスタッフがいます。治療成績も国内トップの施設に比べて、ひけをとることはありません。このように「HIVに感染していても十分なケアとサービスを受けることができる」体制を整えています。「エイズの検査を受けてみませんか？」と検査を勧め、了解を得た上で検査を提供してあげてください。リーフレットを準備しています。ご活用下さい。



## < ご意見募集 >

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。 [TAKATA, OE]  
[takata@aids-chushi.or.jp](mailto:takata@aids-chushi.or.jp)